



ふなはし

議会だより

No.2 平成25年7月22日発行



6月定例会で交代 議長 前原氏 副議長 山崎氏

前議長あらわし 竹島貴行

議長あらわし 前原英石

舟橋村議会議長退任にあたり、一言ご挨拶申し上げます。
これまでの二年間、村民の皆様から負託を受けた議員が、議会の役割、責任を実感しながら、議会

本定例議会におきまして、議員各位のご推挙により議長に就任いたしました。身に余る光栄であり、議長として、果たすべき責任の重さと使命の大きさに身の引き締まる思いであ

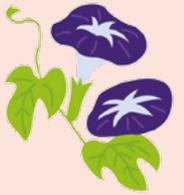
り、決意を新たにしております。
私たち村議会は、従来
の慣例にとらわれること
なく、より一層、創意工
夫と努力を重ねると共に
執行機関との真摯な議論
により有効な施策を推進
し、本村の発展と住民福
祉の向上を目指しつつ、
安心・安全な村づくりに
全力を尽くしていきたい
と思っております。



また、前竹島議長が推
し進めてこられた議会改
革にも継続して取り組み、
村議会の一層の活性化を
図りますと共に、信頼さ
れる村議会を目指して全
力を傾注してまいりたい
と思っておりますので、皆様
におかれましては、今後よ
り一層のご支援・ご鞭撻
を賜りますようお願い上
げます。



六月定例会報告



明和善一郎 議員 一般質問



非常食セツトの賞味期限対応と今後の取り組み

議員 災害発生時の取り組みとして、平成20年春に配布された非常食セツトのドライカレー・五目ご飯・大豆ひじきご飯の賞味期限が2013年5月に、立山の天然水が2013年10月に期限切れの時期がやってまいりました。

富山県東部消防組合の現状と今後の取り組み及び財政計画について

富山県東部消防組合の設立後の状況と今後

はじめに、環境改善をすすめる「チームえびえ」の活動成果が実を結び「蛍の里事業」を進めている海老江地内の用水路で蛍の乱舞が見られます。来年も数多くの村民の皆様方に楽しんで頂けるよう取り組みます。

の取り組み予定、進行状況はどの様になっていますか。

舟橋村に設置計画の分遣所の考えはどのようになっていますか。

建設予定地はどこをお考えですか

隣接住宅への影響はないのですか。

建設時期はいつごろになるのですか。

特に隣接住宅への影響調査を早い時期に行い、音に対する対応や夏場の高温対策について、組合管理者への要望を進めるべきと考えますが、いかがお考えですか。

事業の進行が早まった場合の村財政計画はどの様にお考えですか。

富山県東部消防組合の設立後の状況と今後

富山県東部消防組合の設立後の状況と今後

富山県東部消防組合の設立後の状況と今後

富山県東部消防組合の設立後の状況と今後

富山県東部消防組合の設立後の状況と今後



通学路の安全対策の状況について

先日の新聞報道によりますと村内には3ヶ所の通学路の整備不良路線があり、今年度中に整備したいという内容でしたが、3ヶ所とはどこですか。

村民の皆様方の意見をお聞きしますと、一つには古海老江団地横から竹鼻間の歩道の新設は25年度県予算に採択されたとお聞きしましたが、竹鼻地区の要望は地区内中心の交差点までの延長であり、関係機関への申し入れを進めて頂きますよう要望致します。

特に注視しながら対応してもらいたいのは、国重地区の通学路ですが、歩道の整備、交差点の信号時間の調整と進みましたが、県道富山上市線の国重交差点の信号を通勤時間帯に1か所通り抜けるために国重公民館前の

道路を斜め走行する車が増え続けている現状があります。そのために通学時間に歩道を歩いている児童生徒が危険回避のため進行をストップしなければならぬ状況が発生しています。

事故が発生してからでは遅いので、関係機関と調整を進められ時間帯交通規制等の対応を進められるよう希望します。

また、この他の通学路全体の安全対策を早期に検討・実施されますよう要望し、当局のお考えをお伺い致します。



国重地内の抜け道

村長 非常食セツトは平成20年度に配備され、その非常食セツトを参考にして日頃から災害に備えていただきたいと言う思いと、防災意識の高揚を目的で全戸配布をいたしました。賞味期限等その後の管理につきましては基本的には自己責任でお願い出来るものと考えておりました。今後、広報等で賞味期限切れを周知するとともに、新たな災害に対する備えについてもお願いをしております。

ご承知のとおり、災害対策は、自助、共助が大変重要なことでありますから、今後は、各家庭または自治会等で、非常食を購入されるなど災害に対する事前準備をお願いしたいと考えております。

次に、舟橋村分遣所については、役場敷地内の車庫を移設いたし

平成25年度 6月 補正予算

●一般会計 補正額 8,779万8千円の増額
(累計 14億8,725万7千円)

(主な補正)

役場庁舎エレベータ設置事業費 5,894万2千円
保育所床下シロアリ防除委託費 260万0千円

ましてその跡地に建設することにしております。緊急車両が配備されますので、当然、サイレン等の音により近隣の皆様にはご迷惑をおかけすることになります。村民の安心安全のためのご理解をいただくとともに、6月下旬には設計業務等を行い、年度内には完成予定と聞いております。救急車につきましても同様に年度内には購入される

予定であります。実際の運用につきましては職員の配置の関係もございまして、当初の予定通り平成26年10月からとなりますのでご承知願います。いずれにいたしましても、富山県東部消防組合事務局をはじめ関係機関と十分に協議をしながら、事業を進めてまいりますのでご理解を賜りますようお願いいたします。次に、通学路の交通安全対策については、昨年度において、立山舟橋線へのカラー舗装化が実施され、県道富山市線の歩道拡幅については竹内市内で側溝の敷設替えが実施されました。また、竹内舟橋間では用地買収が完了次第、来年度以降に工事が着工される見込みであります。本村では順次歩道の改良が実施されるよう、県に要望してまいる所存であります。また、消雪設備の設

置により子どもたちがより安全に通学できる環境が整うと思っております。次に、県道国重交差点の渋滞を回避する目的で、県道富山市線―大石原水橋線を斜めに走行する車両が多いとの件であります。その対応策といたしまして、一つは国重公民館前の道路をスクールゾーンに指定し、通学時間帯は交通規制をかけるという方法があります。もう一つの方法としては、地元自治会や村交通対策協議会からドライバーに対して、「通学路につき車両の通行はご遠慮ください」という旨の注意喚起の看板設置が考えられます。本村としては、通学路を歩く子どもたちの安全確保と、近隣住民の利便性の双方を考慮し、警察とも十分協議しながら検討してまいります。

前原英石議員 一般質問



舟橋村自転車等駐 車場条例及び舟橋 村環境美化の促進 に関する条例につ いて

議員 舟橋村自転車等駐車場条例についての質問と、舟橋村環境美化の促進に関する条例について質問を致します。まず最初に、それぞれの条例は、行政の遂行上、必要に迫られて制定をされたものと考

えますが、改めて条例が制定されるに至った経緯と、制定されてから現在まで取り組んでこられた施策や事業についての説明をお願いします。

また、それぞれの条例については、条例に反するような行為も見受けられますが、今後どのような手段を講じて、この舟橋村が、今までも増して住みよい村になるような環境作りを進めていこうと考えておられるのか、今後の取り組み等についても合わせてお尋ねします。



舟橋駅北側駐車場

総務課長 舟橋村自転車等駐車場条例に関するご質問にお答えいたします。以前から駅北側の駐輪場には、数多くの自転車が多められております。収容台数が少ないにもかかわらず、長期間放置されたままの自転車、さらには、歩道へのはみ出しがみられ、歩行者の妨げになることもあったことは、ご承知のことと思います。本村といたしましては、一昨年、駐在所や上市警察署の協力のもと、長期間放置されている自転車の撤去を行ったところであり、法的根拠を求めため条例を制定したところでございます。一方、利用者のモラルの向上を目指し、鍵かけや整理整頓を促す看板等の設置に努めております。しかし、

現在に至るまで改善されていなのが現状であります。

今後は、長期間放置されている自転車の撤去や駅南側駐輪場へ誘導するなど、駅前が整然とするよう方策を検討してまいります。

いずれにいたしましても、利用者のモラルにかかわるものであり、駅前の美化と交通安全の観点から、駐在所・上市警察署をはじめ関係機関と協議しながら対策を検討してまいります。

生活環境課長 舟橋村環境美化の促進に関する条例を制定した当初は、村民の方々が自主



フラワーロード

や定期的に広報紙による啓発等、村内の景観維持や村民の美化意識の向上に努めているところが、依然としてゴミ類に対するマナーが守られず大変残念なことであると思っております。

的に清掃活動を実施し、犬のフン等は減少傾向にありましたが、最近では、空き缶などのごみが道路に捨てられているのが多く見受けられるようになりました。本村では、注意を促すため立て看板の設置

・ティータイム・

- S 男 「2号の発行となりましたね。」
- H 男 「あまり時間がなかったけど一応期限内に発行できましたよ。」
- N 男 「表紙がユニークですね。」
- M 男 「内容について、まあこんなところですかね。」
- S 男 「今回は、写真を入れたのがよかった。」
- H 男 「そうですね。次回も入れましょうよ。これからもよろしくです。」



お互いの信頼と責任に基づいて取り組める環境をつくるのが、行政の重要な役割分担であると思います。今後は、職員自身もその責任と役割を再認識しまして、住民と一緒に進む協働体制の確立を推進してまいります。

森 弘秋 議員 一般質問



村歌の策定と、その方策と進捗状況及び周知方法について

議員 富山県が、昨年の夏に発表した「ふるさとの空」について、新聞報道によるものですが、「知事は『すばらしい歌ができた』と関係者に感謝した」とありました。

そこで、大変良い歌であるところから、県歌を歌う機会がないも

のか？ と考えていたところ、舟橋中学校の創校記念式が5月27日にありましたので、創校記念日当日に歌わせてもらいました。大変難しい歌で苦労されたそうです。が、県歌「ふるさとの空」を歌ったことが生徒の印象に残れば幸いです。

さて、舟橋村においても、本年度「日本一の健康な村づくりプロジェクト」の中で、ソーシャルキャピタル（社会関係資本）の向上と生活習慣の質の向上を「2本の柱」に10年後の健康な村づくりとして『村歌』を作成するとあります。歌の長短等ポリユウムにもよりますが、作業スタッフは？ いろいろから作業にかかれるのか？ あるいは、全てを委託されるのか？ それで、いつごろに仕上



げられるのか。

せっかく作成した歌であり、歌われてこそ歌は生きる。歌の普及・周知をどのように考えられるのか？

現在の進捗状況、また、どのような方法で製作（作詩・作曲）されるのか？ 普及・周知の方法について村の計画・思考をお聞かせ願います。

舟橋駅南駐車場の無料時間帯の延長等について

私は、昨年の6月議会で、図書館の利用者に限り、駅南駐車場の無料時間を2時間から4時間に延長できないかとの質問に対して、「駅南駐車場につきましては、平成18年9月から有料化され、当時各議員から意見を聞き、受益者負担のあり方等、料金決定にあたり種々検討の結果全ての利用者に対し、2時間無料が妥当だろうと

し、これからも、図書館を利用される皆さんへのさらなるサービス

を改善するための意見を聞き、時間延長を含め検討したい」と答弁されておられる。

また、本年3月の議会で、駅南駐車場の利用状況並びに一般会計から維持管理費を投資しておる観点から、利用率向上の方策について質問があり、答弁の中で利用者台数の減少等、地権者に対し賃料の引き下げ、借地の一部を購入したい旨努力したい等、答弁されています。

ところで、立山町の駅駐車場の3駐車場とも全て4時間無料であり、用事を済ませるのに、4時間は必要であろう！で、4時間無料と決めたそうです。延長時間は、4時間を超えるごとに100円であります。

これからは、住民がいかにかに利用しやすいか？ 金銭面も含め、

考えることであると思

います。時間が経ちますと価値観が変わります。

村民の皆さんに、いかにしてサービスを提供するか？駐車場の無料ばかりではありませ

ん。数年前から「あしたの森公園」に隣接してパークゴルフ場を整備すればどうか？との要望も聞いておりました。4時間あればパークゴルフもできるではありませんか。

もっと先駆的に発想してはいかがですか？日本一小さな村です

から大きな夢をもちましょう。

あつと驚く哲学の世界ですよ。

井の中の蛙ではなく、小さな舟橋村でしかできないことを実行し全国にアピールする。

まず、村の活性化のために村民に何を提供すればよいのか、村長のこれからの考え方を



村長 村歌策定について

村歌策定についてであり、本年より、「日本一健康なコミュニティ」を目標とする健康構想がスタートいたしました。

急激な人口増に伴い新旧住民数が拮抗する本村では、他の自治体にも増して重要な意味をもつ「キーワード」であるといえます。

このような状況の中、「ふるさと舟橋村」に対する愛着や誇りを育み、住民相互の信頼

度向上を目指し、地域コミュニティの連携強化を図ることを目的に村歌を策定するものがあります。

平成20年度に制定した「村民憲章」を歌詞のベースとして、多くの住民が共有できる「歌」にしたいと考えております。

まず、村歌策定委員会を組織します。委員会は、保育所・小学校育成会、その他一般公募委員とシンガソングライターの高原兄さんで構成することにして

しております。7月から着手しまして、10月末には完成の予定であります。

現時点では、チーフである高原さんとは事前打ち合わせを2回行いまして、委員が確定次第、すぐに着手

できるコメントをいただいております、予定通り来

月から策定に入りたいと考えております。

次に周知方法についてであります。

本村の大きなイベントでありますふなはしまつりや文化祭をはじめ、保育所・中学校諸行事での披露発表、各種団体へのPR更に本村のホームページに掲載してまいります。村歌策定委員会でも有効な普及手順の検討をお願いしたいと考えております。

次に駅南駐車場の利用状況について申し上げます。「24年度は、前年度を若干上回る台数、料金収入があるものと見込んでおります」と答弁したところ

でありましたが、駐車台数は、前年度比311台減の33、316台、料金収入は、前年度比98、111円減の6、459、646円でありました。

昨年度の駐車場にかかった経費は、管理委託に3百万円、除



「ふるさとの空」を斉唱する中学生



京坪川河川公園

雪費は、機械リース料129万円、除雪委託に429,976円支出いたしました。収入から支出を差し引いた、余剰金170万円余りを地権者に支払う賃借料に充当しているのが、現状であります。

舟橋村駅南駐車場は、立山町の五百石駅前の駐車場と違い、借地であります。

議員ご提案4時間まで無料及び引き下げに關しては、今は議論するべき時期ではないと考えております。

ただ、今後も、利用客の増加を図ることに關しては、知恵を絞っていかねければと考えております。

山崎知信議員 一般質問



コミュニティ広場、施設の要望について

議員 「村民が幸せに暮らせる理想の村の実現に向け、住んでいてよかったですと考える村を目標し、舟橋村健康構想を策定し、村総ぐるみで展開したい」と村長は北日本新聞のインタビューに答えておられます。

日本一健康な村を目指すために一番大切なものは信頼・安心です。

ソーシャルキャピタルにおける隣・近所のみでなく、その地域に住む、多くの人同士の信頼と絆が必要となり、そのために、例えば、みんなが集いあうパーベキューコーナー施設や、パークゴルフ等ができる公園、心身を鍛える武道館等が必要と思われまふ。本村には、舟橋会館にあったトレーニングルームが廃止され、施設としてオレンジパーク等がありますが、利用度が少ないと思われまふ。

私は、立山町グリーンパーク吉峰のコミュニティ広場で行われたある政治家の県政報告会に参加してまいりました。まさに、そこは緑が多く、その施設にはパーベキューコーナーがあり、そこに約600人の地域の方々が楽しく歓談していらつしやる、いわゆるソーシャルキャピタルでした。その隣にはパークゴルフ場があり、

たくさんの方がプレーしておられました。この町では今年度、武道館を5億8千万で建替える予定となっております。本村も人口が3千人を超え、10年後の健康な村を目指すならば、コミュニティ広場・施設等が必要ではないでしょうか。村長に誠意ある答弁を求めまふ。

防犯灯や街路灯のLED化について



稲荷古海老江線、いわゆる湯めぐちから舟橋駅へ向かう道路です。そこに昨年度、地域からの要望で太陽光パネル型防犯灯が設置されました。日頃、そこを散歩している方から「この村は、環境に良い『エコ』に取り組



んでいる所ですね」と言われ、思わず「そうです」と答えまふ

た。まさか、この路線に電柱がないからとは、言えませんでした。そこで、電気料の負担・軽減、省エネ化になると思われる防犯灯や街路灯にLEDを導入する計画に対し、調査費を計上してみてはどうでしょうか。総務課長に伺いまふ。

南の玄関（商業施設）について

今年度に入り、立山町利田地区に大型ショッピングモールが建設中です。

聞くところによると、9月末頃にオープンとのこと。そうなること、本村の東芦原の商業施設に対し、対策が生じてきていると思いまふ。

私は前々から、その商業地を村で購入し



太陽光パネル型防犯灯

関口としてはどうかと言ってきました。今後、どうするのか、前進した答弁を期待しまふ。

村長 地域コミュニティ施設については、地域コミュニティにつきましては、健康構想でも、「健康なコミュニティ創り」を目標に掲げており、住民交流は大切であり、そのための場をつくることは極めて重要なことであると思っております。

本村は、県都富山市への交通利便性も高いことから、富山市のベッドタウン化が進み、昼間人口が少ないのが特徴であります。今後高齢者の割合が年々高くなると予測

されますので、着実に昼間人口が増加してまいります。このような要因からも将来的には地域の中に住民が集える施設(居場所づくり)を整備することは大変重要なことであると考えております。

一方、本村の目指す健康コミュニティの醸成は、施設がなければ出来ないことではありません。

地域コミュニティとは、与えられた環境(施設)の中で生まれるものだけでなく、集う環境そのものを創り上げるものであると考えております。

そして、この形態が第4次総合計画に掲げる「協働」であり、健康構想に掲げる「ソーシャルキャピタル」であることもご理解いただきたいと思います。



防犯カメラ

総務課長 防犯灯や街

路灯は、省エネ対策としてLED化が促進されており、環境省の公募事業として「小規模地方公共団体におけるLED街路灯等導入促進事業」が今年の2月に募集されておりまして、その公募事業は、人口15万人未満の自治体において、LED照明導入のための導入計画の策定と、導入に係る費用の一部が対象となるものであります。

試算は、概算ということでご理解をいただきたいと思っております。村内にある防犯灯や街路灯は、350基ほどありまして、現在の電気料は年間170万円ほどであります。これを全てLED化で試算いたしますと、電気料は75万円になり、現在の半分以下になります。

電気料だけでみますと、事業参加のメリットがあると感じられますが、この事業は、外



駅地下通路の防犯カメラ

防犯カメラ

灯の交換について10年間のリース契約を行うことになっております。

現在、村の外灯の修繕費は年間約40万円程度であり、電気料と合わせて約210万円の支出となっております。

リースとなりますと、改修費と維持管理で約210万円の支出となり、これに軽減された電気代を足すと285万円となり、現在よりも負担が増えるという試算結果ができました。また、この方式はリースであるため、従前のように村内業者への修繕を依頼することが出来なかつたり、新規取付は対象外であることから、当該事業への参加は見送ったところですが、新規取付については原則LED

とし、修繕についても老朽化が著しいものについてはLEDを取り付けるなどの対策に取り組んでいるところがあります。

実績についてはですが、平成22年に路線として、村道舟橋稲荷線、東芦原舟橋駅線、舟橋西部線の街路灯がLED化しており、これまでどおりLED化を推進してまいります。

副村長 ご質問の件につきましましては、これまでもその時々までの動きと、経済性を含めた開発計画の方向性決定に時間がかかっていることはご承知のことかと思っております。

議員のお話にもありましたが、現在立山町利田地区でショッピングセンターが建設される中で、「周りでは、商業施設はもう無理ではないか、新たな切り口も必要という人もいますが、この立地環境でこれまで通り商業施設

を進めたい。利田の施設との近接性がプラスに働き、逆に集客力が高まりシナジー効果を上げることができると。これまで以上の計画内容としたい」と、商業開発計画の続行が開発業者より示されており、また、芸術文化の創造拠点として作品展示や教室の開設等、地域間交流に資する活動も期待でき、さらに、日常生活を取り巻く社会環境のすべてが健康と密接に関係している中で、生涯を通じ住んでよかったと思える村をめざすためにも、舟橋村健康構想の理念を踏まえ、継承すべき自然環境や豊かで美しい農村景観、産業振興と潤いの生活環境に必要な施設整備をするためにも、キーワードを「環境」とした将来のあるべき村の姿をうたう環境整備計画を早く整える必要があると思っております。

商業地域における新たな動きは、現時点ではまだ構想段階であります。官と民でそれぞれ相乗効果を生み出せないか、各位のご意見もいただきながら進めてまいりたいと考えております。

商業地域における新たな動きは、現時点ではまだ構想段階であります。官と民でそれぞれ相乗効果を生み出せないか、各位のご意見もいただきながら進めてまいりたいと考えております。



各委員会の構成

(6月定例会から)

【総務委員会】

- ◎ 明和善一郎
- 竹島貴行
- 前原英石
- 塩原勝

【産業建設委員会】

- ◎ 野村信夫
- 川崎和夫
- 山崎知信
- 森弘秋

【議会運営委員会】

- ◎ 竹島貴行
- 野村信夫
- 明和善一郎

【議会広報特別委員会】

- ◎ 森弘秋
- 塩原勝
- 明和善一郎
- 野村信夫

(◎は委員長、○は副委員長)

塩原 勝 議員 一般質問



美つる村（Village）

議員 人は衣、食・住がそれなりに満ち足りたとしても、それで満足するものではありません。より良い材質や豪華なものを求め、格好よく着飾ることを望み、より美味しいものやグルメを楽しみたいと考へ、庭付きの広い家を望みます。今、舟橋村は、日本

一健康な村を目指し動き始めました。

さて、この後は、より健康で文化的な環境、美観あふれる素晴らしい環境づくりだと考えます。

素晴らしい環境とは、公共施設や学校、図書館、公園、芸術・文化、スポーツ施設などがバランスよく整い、景観を醸し出す自然環境も整備されて美しく、また、ゴミや廃棄物の放置もなく、雑草・雑木などが生い茂った荒地などが少ないことも含まれます。

今村内を見わたすと、荒れた空き家も増え、その庭もまた荒れています。売地で何年も放置されて荒れている所もあります。耕作放棄地も徐々に増えてきています。廃棄物の集積で見苦しい所も見受けられます。道路脇でも雑草が生い茂り、崩れかかって整備が

必要と思われるところも多々あります。

国、県、村、自治会、土地改良区等でそれぞれ対応されているわけですが、その狭間で見落とされているところも多くあります。

確かに、舟橋村におけるそれまでの分野での取り組みも評価しなければなりません。そこで今回は、美しい村づくりを目指して、今後、村内の美観を損なう場所の解消に、村はどう取り組み、また村民にどのように協力を求めているのかを、村長にお聞きします。

また、新旧住民の交流を目的とした舟橋会館の新設、立山連峰が一望できる京坪川河川公園やテニスコートを整備するなど、常に必要施設と地域環境に配慮した事業を展開してまいりました。

また、これまで、空き家情報バンクの設置や相談窓口の開設並び



にセカンドライフ交付金制度の運用。所有者に対し管理の徹底を依頼する通知の発送。農業委員会での農地パトロールによる現状把握と対応策の検討。広報や立て看板による啓発活動並びにクリーンデーやごみゼロの日活動の実施などを行ってまいりましたが、このことで十分な対応が出来ているとは思っていません。

現在の実施項目を毎年見直し、次年度に反映する事務事業のマネジメントサイクルPDCA（計画↓実行↓評価↓改善）に基づき成果を意識した事業を展開してまいります。住民の協力をなしては実施出来ないのが現状であると理解しており、同時に地域における自

助・共助・公助の形態、住民と行政による協働であり、その体制の確立こそが、住みやすい村づくりの基盤であると考えております。

梅雨明けが待ち遠しいこのごろですが、『議会だより』が村民の皆さんに届くのは夏空が広がっているころ。先日、久しぶりにバスに乗ったのですが、私が疲れた顔をしていたのか、女子高校生が「どうぞお座りください」と席を譲ってくれたのはありませんか。恥ずかしいやら、かつこ悪いやら、ウーンまいった。まいった。しかし、感心しました。今どき、このような高校生にあまりあわないから…。

2号をお届けします。（森 記）

また、新旧住民の交流を目的とした舟橋会館の新設、立山連峰が一望できる京坪川河川公園やテニスコートを整備するなど、常に必要施設と地域環境に配慮した事業を展開してまいりました。

また、これまで、空き家情報バンクの設置や相談窓口の開設並び

あとがき

梅雨明けが待ち遠しいこのごろですが、『議会だより』が村民の皆さんに届くのは夏空が広がっているころ。先日、久しぶりにバスに乗ったのですが、私が疲れた顔をしていたのか、女子高校生が「どうぞお座りください」と席を譲ってくれたのはありませんか。恥ずかしいやら、かつこ悪いやら、ウーンまいった。まいった。しかし、感心しました。今どき、このような高校生にあまりあわないから…。

2号をお届けします。（森 記）

また、新旧住民の交流を目的とした舟橋会館の新設、立山連峰が一望できる京坪川河川公園やテニスコートを整備するなど、常に必要施設と地域環境に配慮した事業を展開してまいりました。

また、これまで、空き家情報バンクの設置や相談窓口の開設並び

また、これまで、空き家情報バンクの設置や相談窓口の開設並び

また、これまで、空き家情報バンクの設置や相談窓口の開設並び

